

輪作体系維持・確立対策事業費

予 算 額	1,626千円(前年度 2,033千円)
うち道費	1,626千円(前年度 2,033千円)

1 事業の目的

近年、本道畑作農業では高齢化、一戸当たり経営面積の拡大、発生ほ場における種馬鈴しょ栽培が不可となるジャガイモシストセンチュウのまん延やジャガイモシロシストセンチュウの新規発生などによって、基幹的な畑作物であるてん菜と馬鈴しょの作付面積が減少し、輪作体系に崩れがみられる。

こうしたことから、てん菜と馬鈴しょの作付けの安定化に向けた取組を推進し、本道畑作農業における輪作体系の維持・確立を図る。

2 事業の内容

(単位：千円)

区 分	事 業 内 容	予算額
甘味資源作物栽培体系確立・攻めの病害虫対策事業	○てん菜・馬鈴しょのあり方を考える会の開催 ○抵抗性品種普及拡大のためのセミナー開催 ○大消費地に対する普及啓発活動 ○消費者、飲食店、流通・加工業者等に対する普及啓発資料の作成	1,044 (1,044)
健全な種馬鈴しょ生産流通対策事業	○種馬鈴しょ防疫講習会の開催 ○種馬鈴しょ産地に対する生産管理基準の指導 ○集荷販売登録業者に対する健全な種馬鈴しょ利用に関する指導及び講習会の開催 ○家庭菜園を含めた一般栽培者に対する健全な種馬鈴しょ利用に関する啓発活動	582 (582)
合 計		1,626 (1,626)

3 事業実施主体

北海道

4 事業実施期間

平成25年度（2013年度）～

（ 担当：農政部生産振興局農産振興課
（内線 27-714）